

クルマを暮らしの電源へ

系統連系により
スムーズな
運転

停電時でも
安心給電
3kVA/6kVA
(スタンダードモデル) (プレミアムモデル)

スピーディーな
倍速充電

太陽光発電を
有効利用

スマートフォン
から操作※も
簡単で、将来の
VPP対応可能

※プレミアムモデルに対応。



●イラスト・写真はイメージです。実際の設置とは異なります。



系統連系型
EVパワー・ステーション®



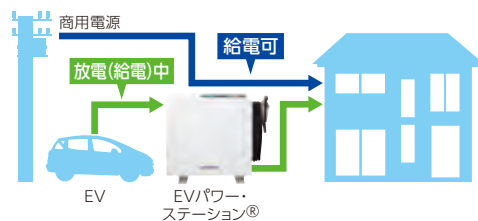
蓄電の **nichicon**

- EV/パワー・ステーション®をご使用いただくには、車両側のプログラム更新が必要となる場合があります。詳しくは、自動車販売店にご相談ください。

使う

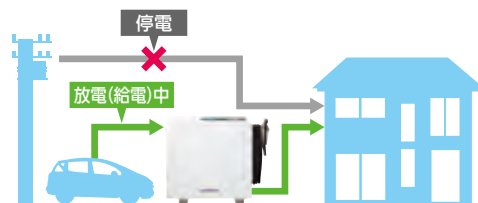
EVパワー・ステーション®だからできる、EVのフル活用

EVパワー・ステーション®ならEVへの充電だけでなく、EVから家庭への放電（給電）が可能。さらに系統連系により、EVから放電（給電）しながら、不足分は電力会社の電力も使用することができるので、EVに蓄えた電力をムダなく活用できます。



「もしも」の停電時も、電気を使えるから安心※1

停電時には、EVに蓄えた電気を家庭に放電（給電）。スタンダードモデルなら安心の3kVA出力、プレミアムモデルなら余裕の6kVA出力で、200Vのエアコンも稼働できます。EVの大容量蓄電池があれば、長時間※2の放電（給電）も可能です。



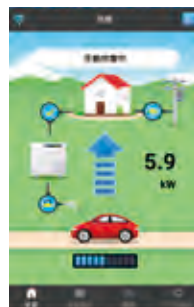
※1 停電が発生した場合、一旦停電します。その後、放電（給電）操作をしてください。

※2 EVの電池容量（残量）と家庭での電力消費量により、放電（給電）可能時間が変わります。

スマートフォンがリモコン代わりに。 室内からでもらくらく操作。

（VCG-666CN7 プレミアムモデルに対応）

ご自身のスマートフォンから専用アプリで、EVパワー・ステーション®の充放電開始・停止の他にタイマーなどを簡単設定。履歴や稼働状態の確認もできます。ECHONET Liteに対応し、将来のVPP（バーチャルパワープラント）等にもスムーズに対応できます。

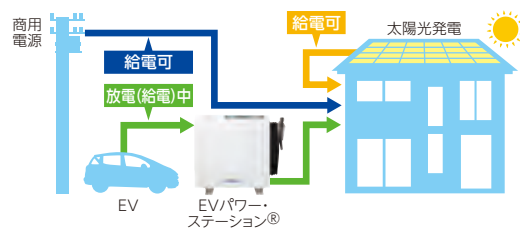


表示イメージ

太陽光も 使う

EVパワー・ステーション®のおトクと安心を、 太陽光発電でさらにアップ。エコライフをもっと充実！

系統連系だから、電力会社の電力・EVの電力・太陽光の電力を同時に使えます。朝夕など使用電力量が多い時間帯に、太陽光発電の電力を、EVパワー・ステーション®で補いながら、不足分だけを電力会社から購入するなどのおトクな使い方が可能です。さらにプレミアムモデルなら、停電中でも太陽光発電の余剰電力をEVに充電できる※1ため、夜間でもEVに蓄えた電力を使って安心。本機器を設置してもダブル発電にはなりません。押し上げ効果はありません。



太陽光発電でEVを充電、 エコドライブでおトクな生活

■走行1kmあたりのコスト比較※2

ガソリン車 11.6 円/km ※3

EV(系統電力で充電) 1.7 円/km ※4

EV(太陽光発電で充電) 0 円/km ※5

2019年11月からの FIT(固定価格買取制度)終了をご存知ですか？

太陽光発電の余剰電力は電力会社に売ることが出来ます。FIT期間(一般家庭では10年間)を終了すると売電価格が大幅に下落すると言われています。EVパワー・ステーション®を使えば、この余剰電力をEVに蓄えて自家消費することが可能です。

	出力制御	09年以前	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
住宅用	なし	24円 で 自主 買取	48円	48円	42円	42円	38円	37円	33円	31円	28円	26円
	あり								35円	33円	30円	28円
	期間		10年									

これからは発電した電気を「売る」より「使う」時代。
EVパワー・ステーション®で、電力をフル活用しませんか。

※1 本機との接続確認済みの太陽光パワーコンディショナーに限りです。 ※2 通勤車両の平均走行距離12,000km/年(自動車保険会社推計をもとにニチコン算定)。 ※3 12km/Lの燃費とし140円/L(資源エネルギー庁石油製品価格調査2018年2月を参考)。 ※4 日産リーフ(JC08モード)を10km/kWh。東京電力スマートライフプラン深夜料金を適用。 ※5 太陽光で発電した電力をEVに使用すると、その分売電量が減ります。試算であり効果を保証するものではありません。天候や家庭での電気使用量によっては0円にならない場合があります。

シチュエーション別機能比較

シチュエーション		できること	対応モデル
太陽光発電	電力会社		
あり	通常時 (供給中)	太陽光発電の余剰電力をEVに充電する。	プレミアムモデル スタンダードモデル
		太陽光発電を売電優先にする。	
		太陽光発電の余剰電力をEVに充電・家庭に放電(給電)する。	
あり/なし	停電時	太陽光発電電力を家庭で使う。 また、太陽光発電の余剰電力をEVに充電する。	プレミアムモデル
		EVから家庭に放電(給電)する。	プレミアムモデル スタンダードモデル

仕 様

		スタンダードモデル		プレミアムモデル
型 番		VCG-663CN3	VCG-663CN7	VCG-666CN7
ケーブル サイズ		約3.7m	約7.5m	約7.5m
本体質量 ※1		88kg	W 809 × H 855 × D 337mm(突起物除く)	
充電部 (系統連系時)	電気方式	単相3線式		
	定格電圧	AC202V		
	定格周波数	50 または 60Hz		
放電部 家庭への放電(給電) (系統連系時)	出力電力 ※2	6kW未満		
	電気方式	単相3線式		
	定格電圧	AC202V		
放電部 家庭への放電(給電) (自立出力時)	定格周波数	50 または 60Hz		
	AC出力電力 ※3	6kW未満		
	電気方式	単相2線式	単相3線式	
家庭への放電(給電) (自立出力時)	定格電圧	AC101V	AC202V	
	定格周波数	50 または 60Hz		
	AC出力電力	3kVA未満	6kVA未満	
待機電力		15W		
EV側電圧範囲		DC150～450V		
不要輻射 ※4		VCCI class B 準拠		
IP等級		IP46(換気部除く)		
設置環境	設置条件	屋外、標高2000m以下 / -20℃～50℃		
	塩害地設置	×	○※5	
動作温度		-20℃～40℃		
周囲湿度		30%～90%(結露なきこと)		
冷却方式 ※6		強制空冷方式		
運転時騒音 ※7		40dB-A		
操 作		本体スイッチ		本体スイッチ +スマートフォンによる操作 (専用アプリ、iOS/Android)
表 示 ※8		7セグメントLED表示機		
CHAdemo(充放電規格)		V2H protocol DC Version 2.1 (登録番号 EVPS201803)		
JET(系統連系規格)		認証取得		
保証期間 ※9		2年	5年	
希望小売価格(税抜価格)		¥398,000	¥448,000	¥798,000
機 能	インテリジェント充電	○		
	(ご家庭の電力契約内で充電する機能)	(ご家庭の契約電力によって充電時間が長くなる場合があります)		
	タイマー予約	○		
	充放電停止充電率設定	○		
	いたずら防止機能(スマートフォン操作限定)	×	○	

※1 規格値ですので、実測値と異なる場合があります。 ※2 機器の入力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭での電力使用状況および車両の充電率によって異なります。
※3 車両の状況により電力が低下する場合があります。 ※4 受信障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは3m以上離して設置してください。 ※5 スタンダードモデルは、塩害地域に設置できません。プレミアムモデルは、塩害地域にも設置できます。塩害・重塩害地域の区分は、弊社ホームページでご確認ください。 ※6 動作中は、本体内部ファンが動作音が発生します。壁との距離など、設置環境により、音の聞こえ方が異なります。本体の内部温度が高くなると、本体の排気ファンが高速になり、動作音が大きくなることがあります。また、高温時出力を制限する場合があります。
※7 JIS C1509-1で規定するA特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から1m、高さ1mの距離での測定値です。 ※8 操作状況やデータを表示。 ※9 「事前確認書」と「設置完了報告書」が提出された場合。

通信アダプタ (Wi-Fi)

型 番	VCG-A01W ※10
外形寸法	W100 × H150 × D45mm (アンテナ部および突起物除く)
本体質量	200g (付属壁掛けブラケット質量除く)
希望小売価格(税抜価格)	本体に付属

※10 通信アダプタはWi-Fi仕様でVCG-666CN7(プレミアムモデル)での標準装備となります。LANをご希望になる場合、下記のLANの追加費用が必要です。VCG-663CN3/CN7(スタンダードモデル)には接続できません。

施工部品

品 名	型番	備考	希望小売価格(税抜価格)
施工用部材	VCG-AC01	CTセンサ(φ16)、 専用角スパーサー等	¥7,000
専用 ケーブル ※11	通信ケーブル 30m ※12	VCG-H013	30m
	通信ケーブル 50m ※12	VCG-H025	50m
	CTケーブル AC用 30m ※12	VCG-H033	30m
	CTケーブル AC用 50m ※12	VCG-H045	50m
	通信アダプタ LAN	VCG-A02L	LAN仕様
オプション※13	通信アダプタ LAN	VCG-A02L	LAN仕様

※11 接続には専用ケーブルが必要です。VCG-663CN3/CN7(スタンダードモデル)には、CTケーブル、VCG-666CN7(プレミアムモデル)には、更に通信ケーブルが必要です。 ※12 専用通信ケーブル・CTケーブルは、設置場所に合せて、長さを選択してください。 ※13 通信アダプタ LANはオプションとなります。希望小売価格は標準付属のWi-Fi品からの追加費用です。

寸法図

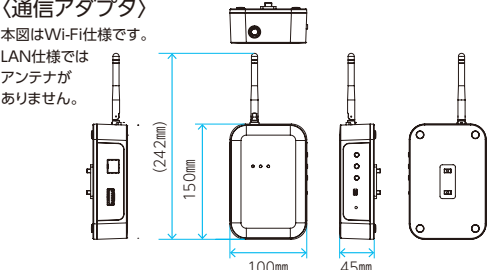
〈本体〉

※写真はVCG-666CN7です。



〈通信アダプタ〉

本図はWi-Fi仕様です。
LAN仕様ではアンテナがありません。



■系統連系について
の認証



■V2Hについての
認証



■ECHONET Liteに
ついてのAIF認証



「電気をたくわえ、上手につかうテクノロジー」のトップメーカーとして常に「この先も価値の続くもの」をご提案してきました。
地球規模の環境問題、日本のエネルギー問題から、家族の未来まで考えて、蓄電システムを開発しています。

よくある疑問・質問にお答えします

※詳しくはWebサイトをご覧ください。

Q1 電気自動車(EV)のバッテリーも残しながら、家庭への放電(給電)をすることはできますか？

A. EVパワー・ステーション®は、バッテリーの残量率を設定することができます。

Q2 停電時はどのように作動させますか？

A. 停電時の放電(給電)は、停電の原因や周囲の安全を確認し、手動による切り替え操作をしてください。その際、車両の電源ソケットに付属品の12V電源ケーブルの接続が必要な場合もあります。

Q3 使用している家電製品の消費電力の合計がEVパワー・ステーション®の放電(給電)能力を超えた場合は、どのようにになりますか？

A. 足りない電力は電力会社の電気を使い補います。

Q4 使用できない機器はありますか？

A. 人命にかかわる医療機器へはご使用できません。消費電力が大きい機器(家庭用エレベータ、井戸水ポンプ等)はご使用できない場合があります。PLC(電力線通信)ネットワークアダプタ等、電力線を通信回線として使用する機器はご使用できません。

Q5 太陽光発電で発電した電力をEVに充電できますか？

A. 充電いただけます。但し、充電に使える電力量は太陽光発電能力によって変わります(停電時に使用できない場合もあります)。

Q6 設置に際しどのような工事が必要ですか？

A. EVパワー・ステーション®本体の屋外設置および分電盤/切替スイッチ、通信アダプタの屋内設置と通信ケーブルやCTケーブルの引き込み等、専用配線工事が必要です。

Q7 屋外設置はできますか？

A. 本体は屋外設置仕様です。特に粉塵が多い場所、直射日光が当たり高温になる場所等では、製品性能や耐久性への影響などを考慮する必要があります。

Q8 事務所や店舗など消費電力の多い場所にも設置できますか？

A. 可能です。但し、自立出力(停電)時は、100V 3kVA(スタンダードモデル)又は200V 6kVA(プレミアムモデル)の放電(給電)になりますので、放電(給電)先を限定いただく必要があります。

Q9 雨や雪が降っていても使えますか？

A. 雨や雪の中でも使えます。但し、次のことにご注意ください。感電や漏電を防止するため、濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることはいししないでください。万一、コネクタが濡れてしまった時は、布などで水分を拭き取ってください。また、暴風雨や雷が予測されるなかでの充放電はしないでください。

Q10 電力契約は何Aが必要でしょうか？

A. EVパワー・ステーション®の倍速充電機能を十分お使いいただくためには、EVパワー・ステーション®用に60A以上の契約が必要です。

Q11 設置後の定期メンテナンスは必要ですか？

A. メンテナンスフリーですが、吸排気性能が落ちないよう、吸排気部分にごみが詰まっていなかをご確認ください。

Q12 保証期間はどのくらいですか？

A. メーカー保証は1年ですが、事前確認書、設置完了報告書を提出頂き不備が無ければ、スタンダードモデルは2年保証、プレミアムモデルは5年保証です。

使用上のご注意

⚠️ ご使用にあたって

●EVパワー・ステーション®(以下、本機)をご使用いただくには、車両側のプログラム更新が必要となる場合があります。詳しくは、自動車販売店にご相談ください。●V2H非対応のEVにはご利用いただけません。●停電時は、一旦停電します。安全を確認した上で、停電時自立運転をして放電(給電)してください。●吸気口や排気口をふさがないでください。内部の温度が上昇し危険です。充電・放電(給電)中に機器内部が高温になると、充電・放電(給電)電力を下げて制御する場合があります。●ブレーカーが落ちた場合は、原因を取り除いてから電源を入れ直してください。●災害によって停電した場合は、安全を確認してから本機の停電時自立運転をしてください。●可燃ガスや引火物を製品の近くで使用しないでください。発煙・発火の原因になることがあります。●濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿ししないでください。感電の危険性があります。●コネクタがロック中、コネクタをこじめるなどして無理に抜かないでください。高電圧の印加されている箇所が危険です。●本体、コネクタ、充放電ケーブル等は絶対に修理・分解・改造をしないでください。高電圧の印加されている箇所が危険です。●充放電ケーブルを車で踏んだり、足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、本体・コネクタおよび充放電ケーブルが破損する可能性があります。●本体に強い衝撃を与えたり、本体の上に乗ったり、物を置いたり、引きずったりしないでください。本体の故障につながる可能性があります。●コネクタや充放電ケーブルに損傷、腐食、サビがある場合、または充放電ケーブルの接続にガタや緩みがある場合は、充放電を行わないでください。漏電、感電、ショート、火災の原因になります。●雷が鳴り出したら、車両や本体に触れないでください。落雷による感電の恐れがあります。●万一、異音や異臭がしたり、エラーが表示された場合は、速やかに使用を中止し、お客様相談室にご相談ください。●本機はUPS機能を搭載していません。停電時の自立運転時に放電(給電)される場合において、本機の放電(給電)能力を超えると再停電が発生します。その為、途中で電源が切れて困る電気製品のご使用においてはUPSの使用をお奨めします。●停電時、家庭用エレベータ、井戸水ポンプ、オフィス向け複合機等はご使用できないことがあります。●倍速充電機能をフルにお使いいただく場合は、契約電力を60A以上にするをお奨めています。●通常時(商用電力が供給されている時)は、JET認証された太陽光発電・エネファーム・蓄電池と併用いただけます。ただし、併設する機器によっては機能に制約がある場合があります。停電時の動作は事前に確認が必要です。●太陽光発電を設置し売電されているお客さまに対しては、本機を設置してもダブル発電には該当しません。●放電(給電)時、バッテリー残量を設定することが可能ですが、車両によって異なります。●本機から発生する音について 動作中は、本機内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の聞こえ方が異なる場合があります。本体の内部温度が高くなると、内蔵排気ファンが高速になり、作動音が大きくなる場合があります。●本機を2台以上、同一の通信ネットワークに接続すると、アプリが使用できない場合があります。●スタンダードモデルは、塩害地域に設置できません。プレミアムモデルは、塩害地域にも設置できます。塩害・重塩害地域の区分は、弊社ホームページでご確認ください。●温泉などの腐食性ガスのある環境では機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。●このカタログは2019年9月現在のものです。

⚠️ 安全に関するご注意

●ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。●人命に直接かわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。●挿込み型心臓ペースメーカーおよび挿込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充電中、放電(給電)中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。●充電中、放電(給電)中の本製品に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。●機器本体部および充放電コネクタに密着するような姿勢はとらないでください。●本製品を操作する必要がある場合は、他の方にお願ひしていただき、詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。●本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

商品改良のため仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

| その他ラインアップ

トライブリッド蓄電システム®

トライブリッド蓄電システム®は太陽電池とEV・PHVの電池と蓄電池をDCのまま効率よく連携させ、さまざまな利用シーンに合わせて活用いただけるトータルエネルギーシステムです。



可搬型給電器「パワー・ムーバー®」

EV・FCV・PHVの大容量電池から電気を取り出し、交流100Vに変換する機器です。本製品は車のトランクに収納できるコンパクトな可搬型でありながら、4.5kWの出力(最大1.5kWのコンセントが3口)に対応しています。緊急時に、EV・FCV・PHVに積載し必要な場所に電気を運べ、誰でも簡単に操作ができます。



製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上 〒604-0845

<http://www.nichicon.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

お客様相談室

☎ 0120-215-023 (フリーダイヤル)



販売店

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (土・日・祝日・休業日は除く)

CAT.5106-E NA.2019J.10C